

四国地方向け基本方針

- 南海トラフ巨大地震や激甚化・広域化する豪雨災害に備え、地域の安全・安心を支える拠点として、防災・減災につながる情報の発信に引き続き取り組みます。放送、インターネット、データ放送、SNS などさまざまな媒体を組み合わせ、災害情報を正確・迅速に、あまねく伝えます。また、西日本各地の放送局との連携をいっそう強化し、有事の際の緊急報道に万全を期します。
- 四国の4つの放送局は、地域の課題に向き合い、地域に寄り添う放送局を目指します。地域の視聴者のニーズを調査・分析し、関心の高い多彩な番組を提供します。SNSを駆使し、幅広い世代とのタッチポイントの創出に努めます。また、四国ゆかりの人物をモデルにした「連続テレビ小説」を起点に、地域ならではの放送やイベントを多方面に展開し、四国の活性化に貢献します。
- 地域のニュース・情報への関心により応えるため、県域での発信強化に継続して取り組みます。統一地方選挙(投票日・2023年4月9日、23日)をはじめとする選挙報道では、有権者の判断のよりどころとなる情報を公平・公正に伝えます。“ウィズコロナ”時代の暮らしに必要な情報や経済活性化の取り組みをさまざまな角度からわかりやすく伝えます。
- 四国の豊かな自然や文化、四国で活躍する人々、そしてスポーツなど、地域ならではの魅力や活動を広く発信し、地域を応援します。また、視聴者とのつながりを何よりも大切にし、放送やイベントに取り組み、地域と一体となって四国を盛り上げます。デジタル発信やNHK プラスを活用し、幅広い世代に地域の情報・コンテンツを届けます。

各局の重点事項

松山放送局

■ 安全・安心を守る報道に全力で取り組みます

南海トラフ巨大地震や、台風や豪雨などの自然災害に備え、地域の防災・減災につながる情報を多角的に発信します。発災時には、地域の安全・安心の拠点として、SNSでの発信にも重点をおきながら、正確・迅速な緊急報道に全力であたり、被災者が必要とするライフライン情報をきめ細かく伝えます。また、地元民放局や新聞、ケーブルテレビとの連携を強化し、地域の防災力向上に努めます。伊方原子力発電所の安全対策を引き続き注視して伝えるとともに、5年目となる西日本豪雨の被災地に暮らす人々が抱えるさまざまな課題などをこれまでの蓄積も生かしながら、放送・デジタルで発信します。

■ 視聴者の関心に寄り添う情報を届けます

視聴者の“知りたい”に応える全局的な活動に引き続き取り組みます。SNSを活用して視聴者と双方向でつながり、地域の課題を掘り起こし、ともに解決策を探ります。また、視聴者のニーズをさまざまな調査・分析を組み合わせ丁寧に把握し、視聴者起点を第一に放送・デジタル・イベントを融合した視聴者コミュニケーションを展開します。2025年の放送開始100年を前にNHKの貴重な財産であるアーカイブス映像を活用し、新たな付加価値をつけ地域の歴史や魅力を再発信します。

■ 愛媛や四国の魅力を伝える多彩な番組を発信します

日本で最初に国立公園に指定された瀬戸内海国立公園が2024年3月に90周年を迎えます。愛媛、四国の豊かな自然の魅力を多角的に伝え、次世代へとつなぐ役割を果たします。また、俳句や遍路など、愛媛・四国が誇る文化を国内外に広く発信します。サッカーJリーグやバスケットボールBリーグといった地域のスポーツを取り上げ、幅広い世代とのタッチポイントを創出します。これら地域の番組のデジタル展開にも積極的に取り組み、コンテンツをあまねく届けます。

高知放送局

■ 災害情報をさらに充実させて命と暮らしを守ります

台風や大雨などの災害時に高知県の人たちの命と暮らしを守るための情報発信をさらに充実させます。県内各地の郵便局員の協力により災害時の状況の映像を送ってもらう取り組みを進めることや、インターネットを通じた発信を拡大し、災害情報を正確・迅速に、多くの人に届けます。また、高知県にとって最大のテーマである南海トラフ巨大地震に備え、防災・減災に役立つ情報発信や地域の課題を掘り下げる番組の展開に力を入れます。さらに巨大地震の発災時に使用する朝倉サテライトスタジオをふだんの放送に積極的に活用し放送継続に向けた対策を進め、“災害情報は NHK”の期待に応えます。

■ 県内外の“高知をもっと知りたい”にしっかり応えます

2023年度前期連続テレビ小説で、高知出身の植物学者・牧野富太郎博士を主人公のモデルにした「らんまん」が放送されます。高知県の自然や文化、歴史、それに観光に対する関心が県内や全国から高まるこの機会に、ドラマに関連する情報や地域の動き、観光情報を丁寧に取材します。そして放送

とインターネットを活用して高知の魅力を広く発信し、“高知をもっと知りたい”の声にしっかり応え、高知放送局の発信力を強化していきます。年度後期も県が通年で主催する「牧野博士の新休日」という観光キャンペーンと連携するなどして、さらに高知の情報を県内外に発信して地域の活性化に寄与し、公共メディア＝NHKの存在意義を高めます。

徳島放送局

■ 南海トラフ巨大地震に備える防災・減災報道に、地元と一体となって取り組みます

徳島県は、四国4県の中でも南海トラフ巨大地震と津波による甚大な被害が想定されています。西日本BCPにおいて大阪放送局、松山放送局と連携しながら、県民の危機意識を高めるために、日頃から、県内の郵便局、地元ケーブルテレビとの提携を深め、大規模災害の情報を迅速に伝えられる体制を強化します。

いざ災害が起きた際には、まず命を守るための情報や被害状況、次に被災した人たちに必要なライフライン情報や復旧・復興につながる情報を、ケーブルテレビに加えて、地元民放局、FM局とも連携し、多くの人に届けられる体制を強化します。

■ 開局90年 100年へ向けた NEXT10と位置づけ徳島の役に立つコンテンツとイベントを届けます

2023年7月、NHK徳島放送局は開局90年を迎えます。徳島をテーマにした番組のアンコール放送を行うほか、アーカイブスを活用して徳島県内の全自治体の今昔を振り返るコンテンツを展開します。さらに10年後の開局100年に向けて、視聴者のみなさまにも参加していただけるさまざまなイベントを行います。これまで支えていただいた徳島のみなさまに感謝し、徳島の課題となっている少子高齢化、過疎と向き合い、子育て世代を支援し、地域を活性化する放送局として徳島県に寄与します。

高松放送局

■ 地域の安全・安心を守る情報発信に全力で取り組みます

南海トラフ巨大地震や台風・大雨・高潮などの災害から命と暮らしを守る情報発信に全力を尽くします。災害発生時は放送・デジタルを迅速に立ち上げ、リアルタイムの状況をきめ細かく伝えます。平常時は、地域の特徴や災害への備えが具体的にわかるコンテンツを展開します。発災時に使用する松縄サテライトスタジオをふだんの放送でも積極的に活用します。また物価高や新型コロナウイルスなどで先行きへの不安が増している地域に真摯(しんし)に向き合い、SNSも使って視聴者の声を集め、暮らしを守る方策を探ります。

■ 地域密着の発信で地域の活性化を応援します

“香川の情報に特化する”と強く打ち出し、地域密着の放送を引き続き充実させます。午後6時台のニュースでは、地域の課題や話題を1週間にわたって集中的に取り上げる市町ウイークを実施します。地域の歴史や文化、観光などをテーマにしたニュース・番組を制作するとともに、放送・デジタル・イベントが連動した視聴者のみなさまとの接点を広げる取り組みを展開します。香川ゆかりの人物をモデルにした2023年度後期の連続テレビ小説「ブギウギ」を起点に、地域を元気にするコンテンツ制作に取り組みます。